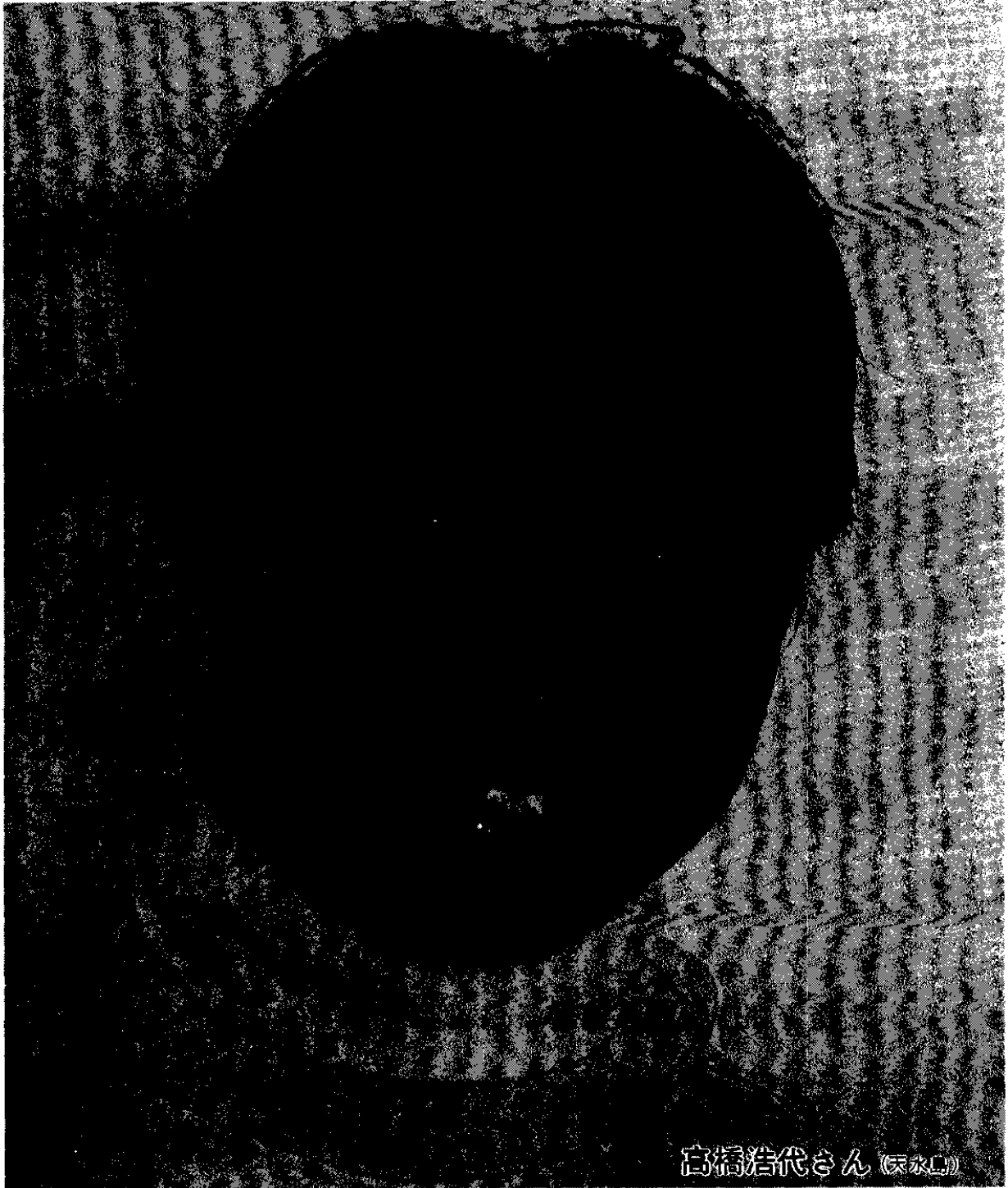


本報 まつやま

1984 **3**



高橋浩代さん (天永山)

豪雪を上回る 39年ぶりの大雪

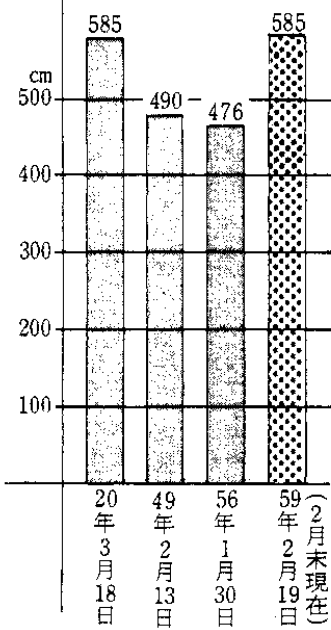
役場前

3月1日には積雪

5メートル59センチを記録

—406—

最深積雪比較 松里小調べ



今年の雪は二月に入っても降り続いたため五六豪雪を上回り松里小学校の記録ではこれまで一番の大雪とされていた昭和二十年の最深積雪(三月十八日)と同じ五八五センチを二月十九日に記録、三十九年ぶりの大雪となった。

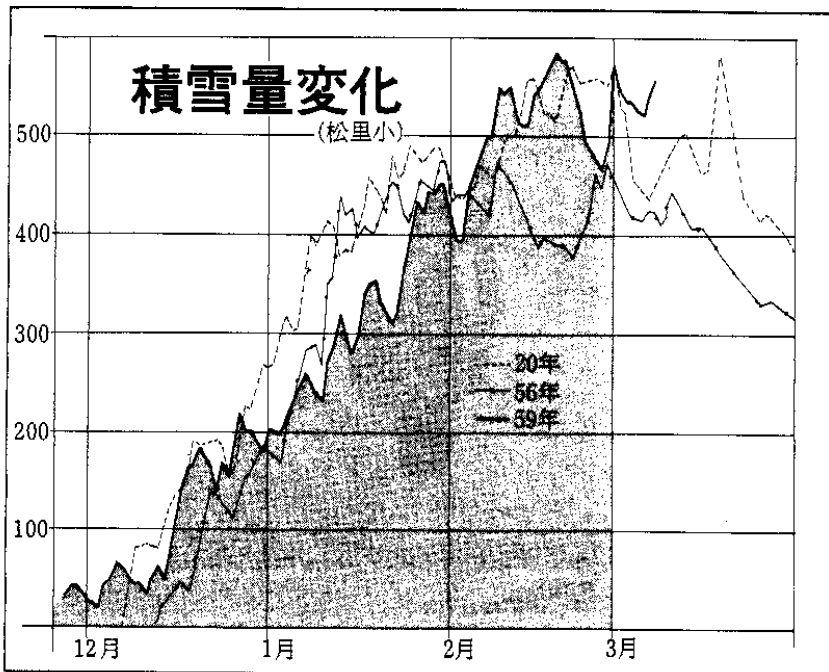
今冬のもう一つの特徴は戦後一番の大寒波といわれた五十二年を上回る寒さとなっている。十一月二十七日の根雪の日から二月末までの九十五日間の役場建設課の観測によると真冬日(日の気温が0度以下)が十七日で、マイナス五度以下の極寒日

が五十五日、降雪のあった日が七十五日もある。また最深積雪は役場前で三月一日五五九センチを記録して五六豪雪の最深積雪、一月三十日四六〇センチより約一メートル多くなっている。町からは約四百五十人が出稼ぎされているが、この大雪のため約二十人の人が屋根の雪おろしのため一時帰省した。

降雪量は二月末までで二メートル九〇センチで五六豪雪(二・五四メートル)よりまだ少ない。温度が低いため雪がしまらなく、積雪が多くなっているものと思われる。

積雪量変化

(松里小)



二月末までに町が出した除雪関係の経費は道路の除雪および圧雪に六千五百万円、公共建物除雪に八百万円、その他保安要員の経費など、七百五十万円、計八千八百万円かかりこれからも約八百万円必要と見られている。(これには国、県道の除雪経費は含まれていない)

一月二十七日に県の災害救助条例が適用され二月七日に国の災害救助法が適用され、二月十七日に十日延長され、二月二十七日には更に十日間再延長された。



6 m近い雪の中、電話線をパトロール（2月13日・田麦立で）



雪との戦いが続く
13回も屋根の雪おろし、のき下の雪かたづけをする主婦（2月13日田麦立で）

雪の記録

2月	松里小胸べ	積雪(降雪)
1日	415	(10)
2日	395	(0)
3日	395	(10)
4日	445	(57)
5日	470	(57)
6日	485	(37)
7日	500	(57)
8日	502	(36)
9日	548	(68)
10日	542	(30)
11日	550	(35)
12日	520	(0)
13日	513	(5)
14日	513	(18)
15日	542	(46)
16日	548	(31)
17日	565	(40)
18日	575	(35)
19日	585	(31)
20日	575	(15)
21日	575	(8)
22日	555	(0)
23日	525	(0)
24日	495	(3)
25日	486	(3)
26日	477	(0)
27日	469	(15)
28日	495	(32)
29日	545	(50)

県の災害救助条例で四十一世帯が該当して約六十万円の救助費が、国の災害救助法では二十六日現在五十四世帯が該当になり約二百万円の除雪費用の援助を受けることになった。

国の災害救助法で54世帯に除雪の援助

三月七日まで災害救助法が適用されているので、救助費が増える見込みです。
町は区長、民生委員さんの意見などを聞いて救助を必要とする世帯を調査して災害救助法の

世帯を決めている。家屋の除排雪の対象世帯は生保、老人、母子、身障者世帯で町民税の均等割以下で自力で除雪出来ない世帯となっている。
救助適用基準のめやすは県災

害救助条例では町の平均積雪三二五センチの一・二倍。国の災害救助法では一・三倍以上の積雪となっている。
五六豪雪では県条例で三十六世帯約六六万円、国の災害救助法で一三九世帯約二百五十七万円の援助が行われている。



スノーダンプで除雪

手に豆をつくりながら頑張る 榊原さん

国の災害救助法が適用された二月七日、東京の青年が雪おろしでこまっている家庭の手伝いをしたいと町を訪れ、四日間雪国の厳しい体験をした。

この人は東京中野区の榊原和憲さん（自営業三十七歳）で五六豪雪を上回る豪雪のニュースを聞き、困っている人を助けたいと町を訪れたが一人暮らしの世帯では賄いの事や一人で屋根の

雪おろしは経験のない東京の人では危険も考えられることから町では凌雲閣さんに紹介し、手伝ってもらったこととなった。

松之山町を選んだのは日本一雪の深い所で手伝いをしながら生活してみたいと思い、東京都道府県会館を訪れて新潟県が雪の多い所だと教えてもらって六日町から松之山町に入った。雪の多いのにまづびつくりした

が、雪の多いわりに道路除雪が行き届いていたのに驚いた様子であった。

スキー場での雪しか知らない榊原さんは、かんじきのはき方スノーダンプの使い方などを教えてもらい、地元の人達と一緒に四日間頑張りました。

この雪国での体験を町公報に寄せて頂いたので、次ページに紹介します。

東京の青年

松之山の豪雪を体験

雪崩

これからが本番

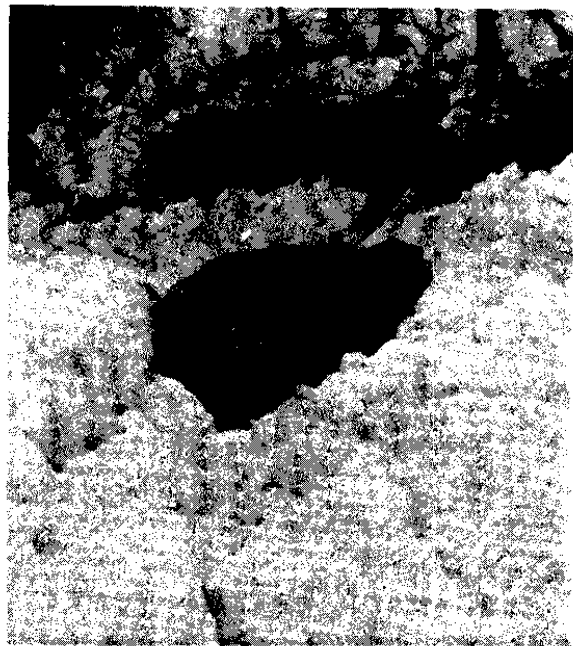
大雪のため思いがけないところでも起こる

今年は例年になく大雪のため、これから気温が上昇してくると思いがけない所でも雪崩がおこりますのでご注意下さい。二月末までの県内の雪崩による死者は七人で、その他雪崩降し中の転落などで十八人が犠牲となっております。

二月十九日には湯本で雪崩が発生して車庫の一部が破損、二十四日には豊原峠（津南町地内）

で自動車巻き込まれ（国道三五三は三月七日現在開通の見込みは立っていない）二十五日には湯山地区で頸城自動車の定期バスが巻き込まれて屋根まで埋まるなど、雪崩が多発しています。

二月十九日の湯本の雪崩で、さらに雪崩の危険があるため、町では二世帯に対し避難勧告を出した。



雪崩に巻き込まれたバス、屋根まで雪に埋まる。

豪雪・松之山での 雪掘りで考えたこと

榊原 和憲

毎年、乾燥した好天の続く東京での冬とスキー場での雪しか知らない僕は、世界的にも有数の豪雪地帯である新潟県、中でも東頸城郡で雪に生活するとはどういうことか、特に自然条件の厳しさの一端でも味わいたいと思っていました。体を使って汗を流すこと、共同で一つの作業をする事から程遠い毎日（手作業の案内製本業に従事しています）に何か生活の句読点、区切りのきつかけをつかむという思いで、又微力ながら雪降しの

手助けに役立てればという思いで短期間ですが松之山の温泉旅館「雪蘭」で雪掘りを手伝わせて頂く機会を得ました。事前に思い描いていた少々悲愴感を伴った老人世帯へのヘルプとは異なり、降りしきる雪の中とはいえ久々の肉体労働の快適さと温泉、地酒付という願ってもない環境のもととても楽しい四日間を味わわせて頂きました。恐らく毎日毎日ゲップの出る程雪と付合われる松之山の人々は、「快適」などと軽々しく言う

言葉に腹が立つ思いだと察します。

唯、自然条件が厳しいと一言に言っても厳冬の北海道や、離島で暑い沖縄諸島などがあるとありますが、この除雪という作業を必然的にやらなくては家がつぶれ生活できないという事実は、中でも特殊条件だと感じざるを得ません。昔の、現金があまり必要でない自給体制での雪掘りとは異なり、現在日本人一般としての生活を維持する上での本業を後回しにしてまで除雪に費す労力とハンデは消費生活の上では大変なマイナスだと思っています。部分的には機械化されてはいても結局は人海戦術で

すね。

四日間の実感として、六メートル近い豪雪ながら集中豪雪ではないということと皆さん割合にのんびり構え、かなりのハードワークではありますが高い屋根の新雪をスノーダンプでトイに次々に落す感覚は爽快な気分です。しかし毎日同じ作業を数ヶ月にも亘ってくり返さなければならぬ人の気持と短期間旅行者気分の僕とでは全々違ったものだと思います。しかしつけ加えて無責任な放言を許して頂くならば、この松之山のトップクラスの豪雪という事が非常にユニークな資源に思えてなりません。毎年何万トンもの水を

海に捨て、或いは融雪洪水を引き起す程の水量を、必要としている国に輸出したら除雪する雪が金を生むことになり又洪水、雪崩の防止にもなるかも知れず、水を必要としている砂漠の国も潤うという事にならないとも限りません。しかも雪を溶かし得る高温の自然エネルギー、温泉が身近であるということは大きな可能性がある様に思えます。又海からの距離もそう遠くはないと思います。大言壮言気味の僕の考えですが、潜越ながら既に言い尽された事かも知れませんが傍観者の一つのアイディアとして受取って頂ければ有難いと思います。

生活の知恵

引越しの手続きは

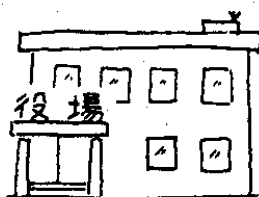
お早目に

〈役所への届出〉

春は転勤や入学、就職と、引越しのシーズンです。忙しさに追われて、つい忘れがちなのが転出や転入に伴う届けです。うっかり手続きを忘れると、選挙に参加できなかったり、国民年金の給付を受けられないなど、いろいろな不都合が生じることもありますので、届出は期間内に必ず出しましょう。

①住民登録の手続きは市区町村役場で転出証明書をもらい、十四日以内に新住所地で転入届をすませてください。
②印鑑登録証の返却をし、新住所で新たに申請をしてください。
③国民健康保険証は返却し、新しい住所で新たに申請を。国民年金は新住所で住所変更の手続きをしてください。

④就学児童のある家庭では、現在、通学している学校で「在学証明書」をもらってください。
⑤自動車をお持ちの方は、陸運事務所で登録変更手続を。転居先が同府県内と他府県内との場合では手続きが異なります。運転免許証の住所変更手続は、新住所の警察署または警察の自動車試験場へ。
〈その他の届出〉
引越しが決まったら、役所以外のところにも届出を忘れないようにしましょう。
例えば銀行に住所変更の届け



を出したり、電気、ガス、水道、電話などの変更や廃止の手続きをしてください。
引越しが終わったら、新しい住所地で電気やガスなどの申し込みをします。ただし、東日本と西日本とは電気の周波数が異なります。また都市ガスも

地域によってカロリーが違い、現在使っている器具がそのままでは使えないことがあります。電気会社やガス会社に相談しましょう。なお、郵便局に転居届を出しておくと、届出の日から一年の間は引越し先に郵便物を転送してくれます。

松之山温泉スキー場

3月 25 日 日

スキーカーニバル



子供から大人まで楽しめる

名物ラビットスूप・甘酒サービス

年末年始にかけて賑わった松之山温泉スキー場は、一月、二月の豪雪でスキーヤーの訪れも少なかったが、二月下旬雪も降りやみようやく活気が戻ってきた。二月末までにスキー場を訪れた人は約一万三千人でリフトの売り上げは一千万円をようやくこえた。雪が豊富なことから今年は五月の連休まで滑れる見込みなの



ようやく活気が戻った松之山温泉スキー場

で、これからの春スキーに期待している。
三月二十五日(日) 松之山温泉スキー場でスキーカーニバルが行われるので、ご家族おそろいでおいで下さい。
催し物ご案内
▽名物ラビットスूप、甘酒、無料サービス
▽スキー競技大会
▽カザマカップアルペン大会
○参加申し込み者は三月二十日

— 407 —

までにスキー協会(☎六一二〇〇)へ。

▽雪上ステージでのアマチュアバンド演奏

▽カラオケのご自慢大会

○どなたでも参加できます。

▽味の名店街コーナー

○けんちゃん汁・おでん・焼とりなど。

○地元の味をたっぷり味わってください。

○先着五〇〇人に三〇〇円分の「味の名店街」の割り引き券サービス。

▽雪中宝さがし大会

○どんな宝物がかくされているか楽しみます。

▽ボブスレー無料貸し出し

○子供も大人もボブスレーのスキルをお楽しみください。

▽ツアーコースの開設

○マントパーク津南スキー場から松之山温泉スキー場までの約二キロ(約九十分)のコース。大自然を満喫してください。

○完走者には記念品と認定証を贈ります。

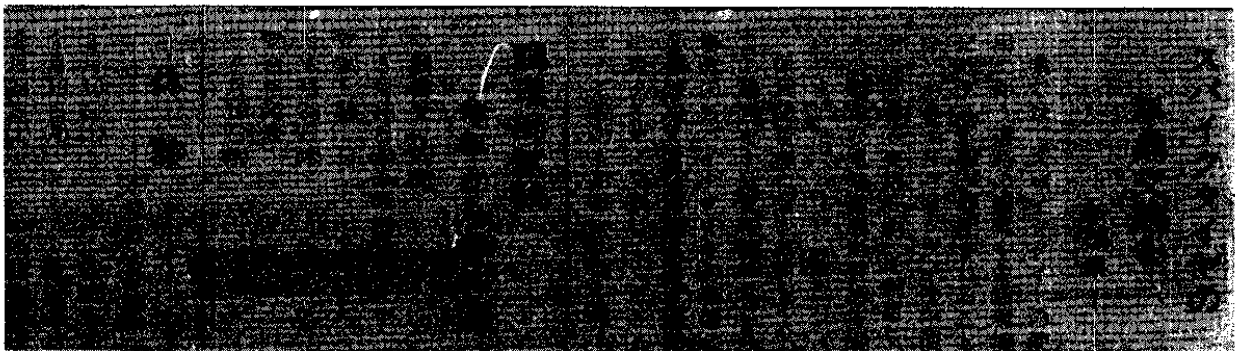
※行事時間

午前十時から午後三時まで。

※お問い合わせ

カーニバル実行委員会事務局
松之山町観光協会へ

☎〇二五五九一六一三三三



栄養素から見た食生活

ビタミンの知識

〈最終回〉

いくつかの食品を組み合わせて食べることが大切

ビタミンは、体の中で栄養素が合成されたり分解されたりする作用を円滑にする働きをします。1日の必要量は1グラムの何千分のいくつと、ごく微量ですが、大切な栄養素です。現在、A、C、Dなど約20種類が発見されています。

ビタミンは、脂溶性ビタミン(あぶらに溶けやすい)と、水溶性ビタミン(水に溶けやすい)に分けることができます。脂溶性ビタミンには、A、D、E、K、水溶性ビタミンには、B₁、B₂、B₆、B₁₂、ナイアシン(ニコチン酸)、葉酸などがあります。

ビタミンが発見されたばかりのころ、その命名はおおよそ発見された順序でアルファベット(A、B、C、D、E……)がつけられていました。しかし、ビタミンBの中には、各種の成分が混ざり合っていることが分かり、Bに番号をつけてB₁、B₂、B₆、……と区別しました。ですからビタミンBというのはなく、ビタミンB群という総称があるだけです。



いくつかの食品を組み合わせて食べましょう!

また、ビタミンK、ビタミンPなどのK、Pは順番でつけられたアルファベットでなく、それぞれ凝固(Koagulation)、浸透性(Permeability)といった特有の作用を表す単語の頭文字を取ったものです。このほか、葉に多く含まれているため葉酸と名付けられたビタミンもあります。

ビタミンは、Aはレバー、Dはイワシといった具合に、特定の食品に偏っているので、A、C、D……などまんべんなく体に取り入れるには、いくつかの食品を組み合わせて食べる必要があります。また、脂溶性のビタミンを含む食品は油でいためない、水溶性のものは長い間水に浸さないなど、それぞれの性質に応じた調理上の注意も必要です。

なお、厚生省が行った昭和57年国民栄養調査の結果では、以前言われていた日本人のビタミン不足は完全に解消されています。

公共施設整備に

役立つ簡易保険

▼簡易保険・郵便年金積立金の力を借りて、町のいろいろな施設が整備されました。昭和五十八年度の各事業別借入額は、次のとおりとなっています。	▼新田地区農道整備事業 一千六百六十万円
▼松之山温泉スキー場建設事業 一億七千五百万円	▼基幹作業道亀石線開設 二百二十万円
▼松口松之山線改良事業 一千九百十万円	▼運動広場造成 二百八十万円
▼西之前北浦田線改良事業 一千九百十万円	▼防火水槽設置事業 百五十万円
▼松代松之山線改良事業 九百五十万円	以上九つの事業の合計借入金額は、二億四千八十万円にのぼり、同年度起債総額の六割を超えています。
▼藤原松之山線改良事業 八百十万円	このように、加入者の共同財産である積立金は、地方自治体に融資され、住民福祉の向上に大きく寄与しています。

豪雪災害の被災者に

電気料金の特別措置

豪雪により災害救助法が適用となった市町村で、家屋が損壊したなどの被災された方に、東北電力では電気料金・工事費などを免除する特別措置を行っています。	被災時から引き続き昭和五十九年八月分までの間に、全くと電気を使用しない場合の電気料金は免除します。
▼電気料金の早収料金適用期間の延長。 昭和五十九年一月分(早収料金適用期間の期限日)が二月七日以降となるものに限る。二月分および二月分の電気料金の早収料金適用期間を各一か月延長します。	▼工事費負担金の免除。 被災前と同じ場所、同じ契約内容で昭和五十九年八月末日まで電気の使用を申し込まれた場合は、工事負担金は免除します。
▼不使用月の電気料金の免除。 被災前と同じ場所に昭和五十九年八月末日までに臨時電明・電力の使用を申し込まれた場合は、臨時工事費は免除します。	▼被災前と同じ場所、同じ契約内容で昭和五十九年八月末日まで電気の使用を申し込まれた場合は、工事負担金は免除します。
▼被災された電気施設の一部が	▼被災のために契約を一年未満で廃止したり、減少した場合の電気料金等の清算は行いません。※詳しくは、東北電力の十日町営業所か松之山出張所にお問い合せ下さい。

停電

東北電力

▽3月15日、曾根
午前9時～午後1時

東北電力

スキー大会成績

▶幼年女子A組(小学生)

- ①藤木ゆかり(津南スク) 34秒78
- ②村山由美子(松之山小) 35秒45
- ③小口 倫美(松之山小) 36秒52

▶幼年女子B組(小学生)

- ①山岸由紀恵(松之山小) 44秒37
- ②福原 明美(松里 小) 44秒64
- ③若月 美華(松代 小) 47秒43

▶幼年男子A組(小学生)

- ①高橋 雄一(松里 小) 33秒88
- ②久保田新次(松里 小) 34秒71
- ③関谷 敏郎(松代 小) 35秒27

▶幼年男子B組(小学生)

- ①小野塚和生(松里 小) 34秒15
- ②福原 伸(松里 小) 36秒69
- ③小堺 一男(蒲生 小) 36秒70

▶小女組(中学生)

- ①石沢 博美(津南スク) 35秒18
- ②半戸 祐子(津南スク) 35秒49
- ③藤木 洋美(津南スク) 35秒75

▶成年女子組

- ①高沢真理子(松之山SC) 38秒88
- ②久保田弘美(東京) 41秒50
- ③佐藤 則子(松之山SC) 42秒66

▶少年組(中学生)

- ①佐藤一徳(松之山中) 1分15秒88
- ②福原 茂(松之山中) 1分16秒96
- ③柳 尚人(松代 中) 1分17秒83

▶高校組

- ①柳 隆晃(安高松) 1分11秒65
- ②渡辺 進(安高松) 1分13秒07
- ③柳 一成(松代高) 1分13秒27

▶成年1組

- ①志賀悦雄(松之山SC) 1分14秒91
- ②山本哲郎(津南SC) 1分15秒94
- ③村山広昭(津南SC) 1分17秒77

▶成年2組

- ①鈴木 孝雄(MSI) 1分18秒90
- ②久保田さとし(東京) 1分22秒33
- ③小野塚悦雄(東京) 1分24秒58

▶成年3組

- ①高橋 政治(津南SC) 31秒32
- ②藤木 忠夫(津南SC) 34秒24
- ③小林 幸雄(埼玉) 35秒12

▶幼年A組(小学生)

- ①高橋 雄一(松里 小) 46秒14
- ②久保田新次(松里 小) 47秒56
- ③富沢 宗(松代 小) 48秒31

▶幼年B組(小学生)

- ①小野塚和生(松里 小) 47秒83
- ②相沢 直樹(松代 小) 49秒05
- ③村山 政仁(松代 小) 50秒71

▶少年組(中学生)

- ①佐藤一徳(松之山中) 1分14秒76
- ②中島 毅(松之山中) 1分18秒59
- ③久保田正志(松之山中) 1分19秒06

▶少女組(中学生)

- ①石沢 博美(津南SC) 48秒67
- ②半戸 祐子(津南SC) 49秒07
- ③藤木 洋美(津南SC) 49秒97

▶高校組

- ①長沢伸彦(安高松) 1分08秒10
- ②渡辺 進(安高松) 1分10秒47
- ③小堺武彦(松代高) 1分10秒74

▶成年1組

- ①金沢昌智(津南SC) 1分12秒31
- ②山本哲郎(津南SC) 1分13秒25
- ③村山広昭(津南SC) 1分13秒39

▶成年2組

- ①村山好文(埼玉) 1分15秒51
- ②鈴木孝雄(MSI) 1分18秒68
- ③小野塚悦雄(東京) 1分20秒62

▶成年3組

- ①高橋 政治(津南SC) 42秒03
- ②高沢 勝(松之山温泉) 48秒15
- ③高橋滝太郎(松里) 48秒65

▶小女組(中学生)

- ①福原 光江(松之山中) 18分12秒
- ②樋口 美保(松之山中) 19分15秒
- ③小堺モト子(蒲田中) 19分37秒

▶幼年女子A組(小学生)

- ①柳 久美子(松代小) 14分10秒
- ②日下部さやか(安塚小) 14分41秒
- ③小菅 江美(安塚小) 15分04秒

▶幼年女子B組(小学生)

- ①宮沢 幸子(松代小) 15分14秒
- ②宮沢千香子(松代小) 15分36秒
- ③柳 明美(松代小) 15分39秒

▶少年組(中学生)

- ①相沢 美和(松之山中) 26分46秒
- ②小野塚 修(松之山中) 27分04秒
- ③牧田 美明(松代中) 28分04秒

▶幼年男子A組(小学生)

- ①吉野 隆一(安塚小) 15分02秒
- ②柳 高浩(松代小) 15分29秒
- ③寺崎 貴光(清水小) 16分45秒

▶幼年B組(小学生)

- ①齊藤 真也(松代小) 15分48秒
- ②佐藤 政秀(峠 小) 15分59秒
- ③西片 栄一(松代小) 16分17秒

▶高校・成年組

- ①馬場 禎光(MSI) 29分14秒
- ②相沢 幸一(安高松) 31分10秒
- ③村山 康(安高松) 32分17秒

▶幼女(小学生)

- ①松代小Aチーム 28分48秒
- ②安塚小Aチーム 29分36秒
- ③松代小Bチーム 29分44秒

▶幼年(小学生)

- ①松代小Aチーム 54分22秒
- ②峠 小チーム 58分46秒
- ③安塚小Aチーム 59分01秒

▶少女(中学生)

- ①松之山中チーム 48分17秒
- ②蒲田中チーム 51分39秒

▶高校・成年組

- ①松代スキー愛好会 64分53秒
- ②松之山町役場 83分07秒

▶少年(中学)

- ①松之山中Aチーム 55分46秒
- ②松代中チーム 59分38秒
- ③安塚中 Aチーム 60分26秒

第35回

松之山スキー競技大会

487人の選手が参加

第三十五回松之山スキー競技大会が二月五日、松之山スキー協会、教育委員会、体育協会、郡東部教員協議会、郡小・中体連主催で行なわれた。

二月四日午後四時よりスキー場レストハウスで開会式があり、中島毅選手(松之山中)が力強く選手宣誓を行った。

翌五日心配された雪もからりと晴れ上り、今冬にはめずらしい絶好のスキー日和となった。蒲川原村を除く東頸五町村、関東方面からの遠来組、そして久々に隣りの津南町からも参加があり、総勢四八七名(小学生三〇一名、中学生八二名、高校生十四名、一般九〇名)の選手により、アルペン競技は松之山温泉スキー場で、ノルデック競技は町民グラウンドを会場に、それぞれ応援団の盛んな声援に白熱したレースが展開された。

新春囲碁大会 大雪の中で熱戦

松之山町囲碁会(会長・村山伸)では年に数回、囲碁大会を開催しているが、去る一月二十九日、役場において新春囲碁大会が開催された。当日は、あいにくの大雪となり、さすがにいつ

もより出席者は少なかったが、それでも午後二時過ぎまで熱戦が続き、一部(一級以上)で田辺啓治さん(四段)、二部(二級以下)で渡辺進さん(三級)が優勝した。

スキーバッチ 今シーズン最後のチャンス

期日 三月十日・十一日
会場 松之山温泉スキー場
受付 三月十日・午前十一時より
正午までにスキー学校へ。

連絡およびお問合せは、松之山町農協(本所) 小野塚英男へ電話六二二二七番。

『明るい家庭づくり』作文 応募総数60点・入選作が決まる

昭和五十六年に発足した松之山町青少年育成町民会議（会長村山政光）では、今年度町内の小・中学生ならびに高校生を対象に「明るい家庭づくりに関する作文」を募集していましたが、先ほどこの審査がおこなわれ優秀作品が決定されました。

町民会議では、青少年の健全育成を目的として各種の活動を展開しておりますが、昨年の十

一月に実施いたしました町内一掃クリーン大作戦につづいて今回、明るい家庭づくり運動の推進をはかることをねらいとして行なったものです。

各学校より応募された作品は総数六十点。各部門ともいずれもすばらしい作品で各家庭における「家庭の日」の過ごし方やお父さんお母さんの働きぶりあるいは、明るい家庭をつくるため

の工夫など家庭内のほのほとした内容の作品が多数あり、審査員の先生方も作品の選出にたいへん苦労されました。

二月二十三日、休養村センターで授与式がおこなわれ、村山会長より受賞者一人一人に賞状ならびに記念品が手渡されました。なお、今回より毎回町民会議会長賞受賞作品をご紹介します。

受賞者一覧表

小学生低学年の部	▽町民会議会長賞	「いねこきのてつだい」	浦田小学校一年 本山 順子
▽教育長賞	「だいこんはこび」	三省小学校二年 相沢 昌之	▽奨励賞
「おかあさんのしごと」	浦田小学校二年 石塚 芳美	「ごみひろい」	東川小学校二年 大見 好行
小学生中学年の部	▽町民会議会長賞	「たいへんそうなおとうさん」	松里小学校三年 佐藤 美穂
▽教育長賞	「がんばりやおとうさんとおかあさん」	三省小学校四年 福原 諭	▽奨励賞
「お父さんお母さんの仕事」	三省小学校三年 中島 和見	「さいたまに行くおとうさん」	松里小学校四年 佐藤 貴恵
小学生高学年の部	▽町民会議会長賞	「明るい家庭」	松之山小学校六年高沢美砂子
▽教育長賞	「両親の働きぶり」	松里小学校六年 村山 孝宏	▽奨励賞
「祖父母の深いシワに思うもの」	松之山小学校六年 樋口 崇	「毎日がんばる母」	三省小学校五年 福原 賢
中学生の部	▽町民会議会長賞	「親子で楽しんだ町民体育大会」	浦田中学校一年 江口 洋子
▽教育長賞	「明るい家庭生活について」	松之山中学校三年 丸山和子	▽奨励賞
「家庭の日のようすについて」	松之山中学校三年 山岸明美	「親の仕事」	浦田中学校二年 本山 五月
高校生の部	▽町民会議会長賞	「三世代家族」	安塚高校松之山分校二年 石塚 佳子
▽教育長賞	「父の出かせぎ」	安塚高校松之山分校一年 江口美恵子	▽奨励賞
「仕事と両親」	安塚高校松之山分校一年 竹内 涼子	「明るい家庭」	安塚高校松之山分校一年 保坂弓美枝

ききょうじょうの中は、あげいねでいっぱいです。いろいろなものがたくさんあって、わたしはびびりました。

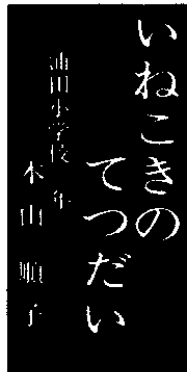
ききょうは、かぞくみんなでいねこきをする日です。

おねえちゃんとわたしは、てねぐいをおぼつて、マスクをして、てつだいはじめました。

わたしは、いねこみでクビがちくちくしてたまりませんでした。

おかあさんが一そくづつしばったあげいねのつなぎをほどこいたのをわたしは、じぎつきの上に二、三ばつあげます。

すると、おとうさんは、いっしょうけんめいでいねこきです。もみとわらがべつべつになつて



でてくるのがふしぎです。

もみは、きかいの中にはいつていつて、いたくないのかなとおもいました。

モーターのおとが、キーキーという、おとうさんが、

「いっばいいいすぎた。」

といつてニコッとわらいました。

わたしも、わらいました。

いっしょうけんめいにてつだつたから、あせがでてきました。みんなのかおを見るとあせが

でていました。はなの中もまっくろでした。みんながんばつていっしょうけんめいしました。

いねがジザツの中にはいと、ザーザーというおとがします。

わたしは、いねこきのてつだいをしてみ、わたしがごはんをたべるまでには、たいへんなんだなとおもいました。

おとうさんも、おかあさんもおじいちゃんも、おばあさんもねえちゃんも、わたしもいっしょうけんめいにしごとをしました。みんなで力をあわせたから、はやくおわりました。

わたしは、おとうさんやおかあさんのしごととしたいへんなんだなとおもいました。

あなたも「緑の国勢調査」に参加しませんか

環境庁では、第三回「緑の国勢調査」の一環として今年から実施する動植物分布調査の参加者を募集しています。

この調査は、自然環境の現状を適確に把握し、自然環境の保全のための施策に役立てるため、おおむね五年ごとに実施されているもので、第一回が昭和四十八年度に、第二回が昭和五十三年度に実施され、自然環境の現状が次第に明らかにされてきました。

今回の調査は、一般の自然愛好者にボランティアとして参加を求め、動植物の分布状況を把握しようとするもので、環境庁が選定した七〇種類の動植物について全国から情報を集め動植物の分布図を作成するものです。調査対象には、カブトムシ、タ

ンボボ、ヒバリなどの身近な動植物や、きれいな水にしか住めないサワガニやヤマメ、都会に好んで住んでいるドバトなど、私達の生活環境の状況を知る目安となる動植物が選ばれています。

調査参加を申し込んだ方には、調査参加証、調査票、地図、調査の手引書が送られます。

参加者は、地図、手引書に従ってどこで、どの生きものを見つけたかを調査票に記入して環境庁に送付すればよいのです。

パンフレットは、環境庁又は県自然保護課へご請求ください。県自然保護課へご請求ください。

951新潟市学校町通一番町六〇二
〒新潟県生活環境部自然保護課
自然環境調査室

郵便・スピードアップ→県内は翌日配達

郵政省は、二月一日から郵便をより早くお届けするために、新しい全国ネットワークを編成した。

新しいネットワークは「鉄道主体から、自動車重点に切りかえ」「大都市間を直行便で結ぶ」「都市の郵便局から近隣各局へ放射線状の自動車網をめぐらす」

などしてスピードアップを図った。

これにより、県内あての郵便は、手紙・はがき・小包とも、すべて翌日配達となった。

なお、当日発送の締切時刻は、郵便局やポストによってちがいますので、詳しくは郵便局でおたずねください。

郵便ものしり手帳

▼手紙やはがきの表面にも、通信文を書くことができます。

○手紙の場合表面下部 1/2

○はがきの場合表面下部 1/2

▼はがきの裏面には、はがきの重量が六グラム以内なら、薄い紙などを密着されてはりつけることができます。

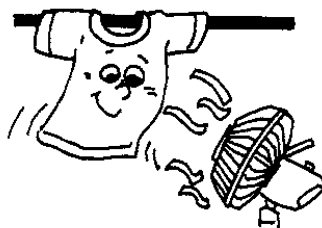
東北電力の電気知恵袋

扇風機

これは便利 No.5

洗濯物を乾かす

急いで洗濯物を乾かしたいとき、扇風機の首を上向きにして洗濯物にあてます。
※扇風機のガードに洗濯物がつかないようにしましょう。

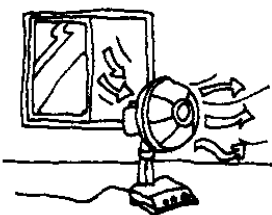


サーキュレーター の代りに

暖房をしていても足元が冷えるときがありますね。
扇風機を微風にして上向きにすれば、天井付近のあたたかい空気が循環して、部屋全体があたたまります。

部屋の換気に

蒸し暑い夏の夜など、扇風機を内側に向けて窓ぎわにおくと、外の冷たい空気を取り入れることができます。寝苦しいときにはタイマーをかけて使いましう。



さわやか君

西村 宗



観光みやげ品 新製品コンクール

関越自動車道的全線が昭和六十年に開通すると、今までとは違った新しい観光客の流入が期待されることから、観光客の受け入れ準備の一環として、地域の自然と風土の中から生まれた新しい観光みやげ品の研究開発を促進しようと、十日町市観光協会などの主催により「観光みやげ品・新製品コンクール」を実施しているの、ふるってご応募ください。

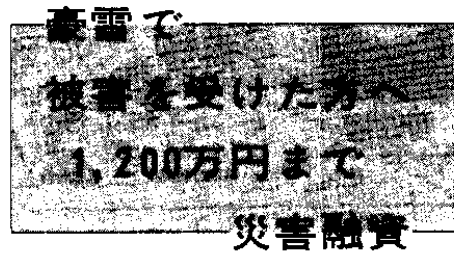
十日町地域地場産業振興センター（十日町市本町六丁目）
▽審査 五月上旬
▽賞金
特選 一点 五万円
入選 三点 二万円
佳作 若干点 一万円
※入賞品については、優良観光みやげ品として、クロス10の物産ホールで販売するほか、一般観光客向けに販売促進を図ります。
※出品に際しては、出品者名、住所・電話・製品名・原材料を名記したものを添付してください。
▽主催・十日町市観光協会。
十日町地域地場産業振興センター。
▽後援・新潟県南部観光協議会。

特別講習で
一級小型船舶
操縦士の資格
水上で船舶の操縦等をする場合、必ず免許をもたなければなりません。昭和四十九年の法改正により、当時の小型船舶操縦士の免許が今年の五月二十五日で失効します。
その措置として、特別講習を受けることにより、現行の一級小型船舶操縦士の免許が取得できます。
詳しくは、新潟市万代二丁目二番一号、新潟海運監理部、船舶部労政課船舶職員係（☎〇二五二四四一六一一内線二二〇）にお問い合わせ下さい。

人口の動き		出生	死亡	転入	転出
三月一日の人口		三八	〇人	五人	一三人
世帯数		男	女		
人口		四、六八五人	二、二七三人		
世帯数		二、四二二人	一、三二四戸		

戸籍の窓口

- 2月にあつた行事
- 1日 議会建設委員会
- 2日 議会産経委員会
- 3日 議会総民委員会
- 5日 松之山スキー大会
- 7日 災害救助法適用（16日まで）
- 14日 老人クラブ会報編集委員会
- 19日 名古屋で出稼者リーダー会議
- 17日 災害救助法26日まで延長
- 24日 民生委員協議会
- 27日 選挙管理委員会
- 27日 標準小作料協議会
- 災害救助法3月7日まで再延長
- 28日 農業委員会総会



豪雪で売り上げが減少したり、売り掛が増加した中小企業に対し、国民金融公庫では、災害融資を行なっている。

大変有利な国の融資です。申込書は、公庫窓口・商工会・商工会議所にありますので、ご利用下さい。

申込書の上部に雪害と書き、裏面に被害状況を簡単に書き下さい。

▽取扱期間
二月一日から四月末日まで。

▽融資額
一、二〇〇万円まで災害融資。ほかに二、一〇〇万円の一般枠がある。

▽利率
八・一％

▽返済期間
一〇年

▽据置期間
二年間

▽対象企業
資本金、従業員数の制限はない。

※詳しくは、上越市大町三二二
一、国民金融公庫高田支店
(☎二四二三四〇) にお問い合せ下さい。

心身障害者扶養共済制度に

加入しませんか

心身障害者を扶養している方々の大きな悩みは、自分の元氣なうちはともかく自分の死後、残された障害者をだれがめんどろをみてくれるかということではないかと思えます。そこで、このような保護者の不安、親族の負担を少しでも軽くし、あわせて障害者の方々に幸せな生活ができるよう配慮するのが、この制度の目的です。

この制度のしくみは、加入された保護者の方々に毎月一定の掛金を県へ納めていただきます。県は加入者に万一のことがあった場合には、その月から障

害者の一生を通じて年金を支給します。そのために県は国の定めた方法により、社会福祉事業振興会と特別な契約を結びその年金支給が保障されるしくみになっております。

この制度の対象となる心身障害者は、次のいずれかに該当する者で、将来独立自活することが困難であると認められる者です。

一、精神薄弱者。
二、身体障害者障害程度等級表に定める一級から三級までに該当する身体障害者。
三、精神又は身体に永続的な障

害を有するものでその程度が一、二と同程度のもの。

加入資格は心身障害者の保護者であつて加入時において次の要件を満たす者であること。

一、六十五歳未満であること。
二、生命保険契約の被保険者となれないような特別の疾病又は障害を有しないこと。

保険料の掛金は加入者の年齢により異なります。また、加入者のうち生活が困難のため掛金を納めることができないときは、その程度により掛金を免除されることになっております。

加入の申込み、その他この制度の詳しいことについてのおたずねは町役場福祉係へお問い合わせ下さい。

年賀はがき当せん番号

お引換えはお早目に！

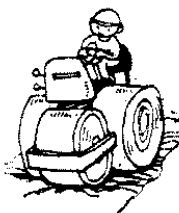
引換期間

59年1月20日～7月19日

等級	お年玉	組	番 号
1等	電子レンジ	A組	869616
		A・B組	182626
		共通	476024
		共通	528616
2等	折りたたみ式自転車	A組	下3けた18845
		A・B組	29663
3等	手紙セット (便せん・封・グリー ディングカードセット)	A・B組	下3けた075
		共通	下3けた269
4等	お年玉切手シート	A・B組	下2けた27
		共通	下2けた67 下2けた92

入札結果

2月



▽産第二十九号・水路災害復旧 (浦田・豊田) 三〇メートル 飯塚建設 二八〇万円	▽産第三十三号、農道・水路災害復旧(坪野) 二〇メートル 大海組 三九〇万円
▽産第三十号、農道災害復旧 (藤倉) 一四メートル 大海組 一七〇万円	▽産第三十四号、水路災害復旧 (松之山) 四二メートル 村山建材 二一〇万円
▽産第三十一号、水路災害復旧 (中尾) 一〇八メートル 大海組 一九〇万円	▽産第三十五号、水路災害復旧 (上鍛池) 一八メートル 大海組 九五万円
▽産第三十二号、農道災害復旧 (水梨) 一四メートル 村山建材 五〇万円	▽産第三十六号、水路災害復旧 (浦田・田麦立) 一一メートル 飯塚建設 六〇万円